



第一分科会報告

電気通信大学

高田昌之

takata@cc.uec.ac.jp



p2p ソフト対策

- well-known なポートであれば塞げる
- 最近のバージョンはポートはランダムになる
 - トラフィックの量を watch して見つけるしかない
- ポートは default で開けるか閉めるか
 - 出入りとも閉める 1/3
 - 入りについては閉める 1/6
 - 危ないものだけ閉める 1/4
 - 部局に任せる 少々
- ポートの開閉は申請ベースでやると大変なので、メニューを用意すると良さそう



学内共通情報インフラ構築 -1-

- 学内の情報システムのアカウントやパスワードを共通にしたい
 - すでにやっているところ 少々
 - 計画段階 十数
- わかりやすいシステムでないと使えない
- 職員証・学生証と共通化すべきか
 - 発行者が誰なのか
 - 個人認証の用途に使えばいい?



学内共通情報インフラ構築 -2-

- 事務局のシステム
 - 1 係で 1 システムを運用していて非効率
 - 他システムを意識せず横方向の連携が困難
 - 仕様策定の初期のうちから、ネットワーク接続や認証の部分に関する相談・打診がないと、運用時に混乱が起こる
- 事務局がその気にならないと難しい
 - 中身のない器だけが並んでいってしまう



誰が大学のメンバーなのか

- 各所でサービス対象の拡大を希望
 - 卒業生
 - 名誉教授
 - 非常勤職員
 - 地元の一般市民
- 誰が責任者になるのか
- 同窓会や技術移転用の会社などを利用するのもひとつ



学内ネットワークについて

- 学内ネットワークに新しい形態はあるか
 - 学内をインターネットで接続?
 - 遠隔授業などをするときに不安が残る
 - キャンパス間には、ダークファイバや自治体の引いた線などが使えるかも
 - ホスト認証のためには、同じアドレスブロックに居ることが最も便利
- 学内バックボーンの更新に不安はないか
 - 可能な限り layer 3 を layer 2 に置き換え